

4 理科

学校番号

T3010

令和3年度 理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	科学と人間生活 (啓林館出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

自然と人間生活にかかわる物事や現象を観察や実験などを通して、科学が身近なものであること
理解させる。
また、科学的な視点や考え方が身につくよう身近な問題について取り上げ、科学に対する興味・
関心を高める。

2 学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現
象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する
興味・関心を高める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との 関連を図りながら化 学や生物、地学など に対し、関心をもち、意 欲的に探究しようと するとともに、科学的 な見方や考え方を身 に付けている。	自然や生活の中に問題 を見だし、探究する 課程を通して、事象を 科学的に考察し、導き 出した考えを適切に表 現している。	科学などに関する観 察、実験などを行い、 基本操作を習得する とともに、それらの 過程や結果を的確に 記録、整理し、自然 の事物・現象を科学 的に探究する技能を 身に付けている。	科学や人間生活に ついて、基本的な概 念や原理・原則を理 解し、知識を身に付 けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシー トの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシー トの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシー トの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシー トの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	生命の科学	第1章 生物と光 A 植物の生育と光 B ヒトの視覚と光 C 動物の行動と光	○	○		○	a 生物の活動と光との関係について調べようとする。 b 光が人や動物、植物に与える影響について考えることができる。 c 植物の成長と光が密接に関係していることを調べ、日射による植物の生育と、その利用について考えることができる。	学習状況 探究活動 ワークシート 観察・実験 定期考査
		第2章 微生物とその利用 A 微生物の存在 B 生態系における微生物 C 微生物と人間生活	○	○	○	○	a 種々の微生物が、生態系においてどのようなにはたらき、生活に関わっているか調べようとする。 b 微生物の存在と人類の関わりについて、その発見の歴史と利用に関する技術、感染症などの害悪を理解して考えることができる。 c 微生物が有機物を分解するしくみについて考えることができる。	
	物質の科学	第1章 食品と衣料 A 食品の科学 B 衣料の科学	○			○	a 身近にある食品や衣料と科学とのかかわりについて調べようとする。 b 五大栄養素について理解している。 c 天然繊維や化学繊維などの種類や繊維の特徴を理解している。 d 塗料や洗剤などの性質を理解している。	
後期	物質の科学	第2章 材料とその再利用 A プラスチック B 金属 C セラミックス	○			○	a 身近にある材料について調べようとしている。 b 様々な材料の特徴について理解している。	学習状況 探究活動 ワークシート 観察・実験 定期考査
	光や熱の科学	第1章 光の性質とその利用 A 光とは何か B 光の性質 C 電磁波とその利用	○	○		○	a 光の性質について調べようとする。 b 光の屈折や反射などの性質を理解している。 c 光の波長としての性質を理解している。 d 電磁波の性質、種類について理解している。	

	宇宙や地球の科学	第2章 自然景観と自然災害 A 地震による景観と災害 B 火山の景観と災害 C 流水の作用による景観と災害	○	○		○	a 自然景観と自然災害について調べようとする。 b 断層や地震のメカニズムについて理解し、震度やマグニチュードなどの数値について理解している。 c 地震による地盤の液状化や津波など脅威について理解し、地震が起きた際の対応を考えようとしている。 d 火山の性質、災害について理解している。 e 流水による地形の変化、災害について理解している	
--	----------	-------------------------------------------------------------------	---	---	--	---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている